

明治期「笑い」関連文献目録（1）

森下 伸也・浦 和男・岡村 志以

【凡例】

1. 本目録は、浦和男「明治期＜笑い＞関連文献目録」（文教大学文学部紀要 23-2、2010年3月）を元に、増補訂正を行った文献目録である。目録作成に当たって、長島平洋氏から文教大学文学部紀要の「目録」の校閲を受けた。また、文教版目録に関しては、多くの研究者の方々から助言、追加資料情報の提供をいただいた。各氏に記して感謝する。
2. 本目録は、明治元年から四五年までに刊行された「笑い」に関連する書籍を収録した。笑話、逸話に限らず、小咄、落語、川柳、狂歌、滑稽小説、戯作、江戸期戯作の翻刻など「笑い」の要素をもつ文芸、地口、謎々（考え物）などの「笑い」を引き起こす要素をもつ言語遊戯、諸芸指南、小唄、都々逸、風俗歌など「笑い」を引き起こす要素をもつ風俗芸能、「笑い」に関する諸研究、を「笑い」関連の文献として扱う。
3. 各データは年月別に分類し、各項目は、刊行月、編著者・校閲者・翻者・口演者、書名、出版地、出版社の順に記載する。同月内は、著者の五十音順に掲載する。同一著者の場合は、書籍の五十音順による。読み、書誌情報は、原則として国立国会図書館の書誌データに基づく。
4. 月表示で、「？」は刊行月不明を示す。
5. 所蔵先情報は以下の通りである。
J：国際子ども図書館児童書デジタル・ライブラリー（オンライン）
K：国立国会図書館（書籍形態）
KL：国立国会図書館近代デジタルライブラリー（オンライン）
KM：国立国会図書館（マイクロフィルム、マイクロフィッシュ形態）
T：京都大学附属図書館谷村文庫デジタル資料（オンライン）
W：早稲田大学図書館古典籍総合データベース（オンライン）

6. 雑誌掲載のコーナー、書評類、書籍の一章ないしは一部をなすものは本目録には未収録とした。ただし、参考として「笑い」関連の雑誌については、創刊年月と、わかる限り終刊年月を収録した。雑誌類の書名には「」を付す。
7. 本目録の作成にあたっては、国立国会図書館、国立国会図書館デジタルアーカイブポータル、国立国会図書館近代デジタルライブラリー、NACSIS Webcat 総合目録データベース WWW 検索サービス、Webcat Plus、国際子ども図書館児童書デジタル・ライブラリー、想 IMAGINE Book Search、日本の古本屋、の各サイトを利用した。また、各種古書店目録も参考にした。書籍の問い合わせに協力していただいた古書店には記して感謝する。

【明治期「笑い」関連文献目録】

明治初？（発行年月不詳）

- ・吾妻雄兔子撰、鶯齋画「都々逸恋の美南本」（出版地等不詳） W
- ・車平次郎編（？）「新ばんどどいつ」新潟県高岡・群芳堂 T
- ・恋々山人作「（言語注解）英語土渡逸（一～三輯）」大阪・境屋卯八郎、東京・藤岡屋慶治郎 W
- ・豊原周春画「当世都々一真盛」（出版地不詳）・延寿堂 W
- ・松寿軒編「英語都々一」東京・愚物社 W
- ・（作者不詳）「開化新文句よし原都々一（二遍）」（出版地等不詳） W

明治元（1868）年

- ？ 一荷堂半水編「流行小唄」大阪・（発行人不詳）
- ？ 一発散人編「別品辻占都々一」（出版地等不詳）
- ？ 京和久治著「京・大坂おどけ問答（大坂版）」（出版地等不詳）

- ? 文福社著述、長谷川小信画「雨夜のつれつれ三題咄」大阪・富士屋政七
- ? 横山老人編「漢語どどいつ」(出版地等不詳)
・「The Japan Punch」不定期刊行 横浜居留地内(文久2年5月創刊、明治20年3月終刊)

明治2(1869)年

- ? 山々亭有人撰「唐詩作加那(初編、二編)」東京・金松堂 W(初編)

明治3(1870)年

- 4 墨塘酒人「(悟一真)新令都度逸(第四編)」東京・伊勢屋庄之助 T
- 9 仮名垣魯文著「西洋道中膝栗毛(初編)」東京・万笈閣 T(初編から十一編まで) *十二編から総生寛が執筆
- ? 一荷堂半水編「(新作流行)漢語都々逸」大阪・富士政
- ? さくら坊光斎序、歌川小芳盛画「昔咄し」(出版地等不詳)
- ? 山々亭有人編「(未味字解)漢語都々逸」東京・松延堂
- ? 藤の家主人編「百籤抄都々一」(出版地等不詳)
- ? 三宅彦次郎編「洒落博士」東京・耕書堂(明治3年版は増補再版)
- ? (編者不詳)「美国振小倉都々逸」(出版地等不詳) KM(序文明治3年)
- ? (編者不詳)「横はまお髭都々一」(出版地等不詳)

明治4(1871)年

- 4 仮名垣魯文著「(牛店雑談)安愚楽鍋」東京・誠之堂 W
- ? 船亭美吉撰「支那西洋国字都々逸」(出版地等不詳) W
- ? 立花亭香織編「(日本仮名西洋文字)流行端歌通」東京・錦亀堂
- ? 三木光斎編「(蟹字混交)漢語詩入都々逸(初編)」東京・品川屋朝治郎 W

明治5(1872)年

- 1 仮名垣魯文著「(河童相伝)胡瓜遣」東京・万笈閣 W

- 3 万亭応賀著、惺々暁斎画「大鈍託新文鬼談(初号)」東京・山崎屋清七 W
- 5 万亭応賀著「(理解新文)豊稔五穀祭(初号)」東京・小林喜右衛門 KL、W

明治6(1873)年

- 1 総生寛著「西洋道中膝栗毛(十二編)」東京・万笈閣(明治9年十五編まで) KM
- 3 服部孝三郎(万亭応賀)著「当世利口女」東京・山崎屋清七 KL
- 3 万亭応賀著「新制兎美断語」東京・山崎屋清七 KL
- 3 万亭応賀著「(理解新文)豊稔五穀祭(初号)」東京・小林喜右衛門 KL、W
- 6 万亭応賀著、惺々暁斎画「大鈍託新文鬼談(第二号)」東京・山崎屋清七 KL、W
- 6 万亭応賀著、惺々暁斎画「天上大珍事(従論証拠)」東京・山静堂 KL
- 8 総生寛編「文明開化童戯百人一首」東京・椀屋喜兵衛 KM

明治7(1874)年

- 3 服部応賀(万亭応賀)著、惺々暁斎画「権兵衛種蒔論」東京・鶴屋喜右衛門 W
- 5 万亭応賀著「智恵秤」東京・仙鶴堂 KL、W(ともに一〜三号合本)(二、三号発行年月不詳)
- 5 服部応賀(万亭応賀)著、惺々暁斎画「驕人必慄筐」(出版地等不詳) W(巻末には「小説三箱」として、他に「吃驚懲面箱」、「懲面於被函」所収)
- 6 服部応賀著、惺々暁斎画「金庫三代記」東京・鶴仙堂 KL、W
- 6 神奈(仮名)垣魯文、河鍋暁斎画「絵新聞日本地」創刊 横浜(同月二号で終刊)
- 7 服部応賀著、惺々暁斎画「青楼半化通(上、中之巻)」東京・星野松蔵 W
- 7 服部応賀著、惺々暁斎画「東京花毛抜(一号)」東京・鶴屋喜右衛門 W
- 11 服部応賀(万亭応賀)著、惺々暁斎画「太郎兵衛水掛論」東京・鶴屋喜右衛門 W
- 12 服部応賀(万亭応賀)著、惺々暁斎画「諸芸畑水練」東京・相模屋七兵衛 W
- ? 笑門舎福来述、歌川豊国画「開化東京膝栗毛」

東京・大橋堂 W

? (編著者不詳)「ひとくちはなし」大阪・大和屋清兵衛

明治8(1875)年

3 橋爪錦造著「寄笑新聞」東京・寄笑社(同年5月まで全十一冊)

5 転々堂(高島藍泉)戯述、惺々暁斎画「怪化百物語」(全二冊)東京・井上定保 KL

10 西村隼太郎撰「諸芸人名録」東京・西村組出版局

11 「仮名読新聞」創刊 横浜・横浜毎日新聞会社(明治13年10月終刊)

? 野口令雅(彩霞楼)編「(狂俳)ねふりさまし」愛知県岡崎連尺町・環翠堂 KM(初編、第四編)(明治12年まで合計5冊か)

? 若葉家三楽「(酔興漫戯)声くらべ(初編)」東京・森本屋

明治9(1876)年

1 伴源平著「開化浪華みやげ」大阪・赤志忠雅堂 KL(四編まで合本)(7月第五編、以後不詳)

4 松本万年著「東京日々新文」東京・磯部屋 T

11 増山守正著「(滑稽究窮理)臍の西国」(初編)京都・福井源太郎 KL

11 鷲見虎吉著「世態風俗イロハ狂句」岐阜・日比徳次 KL

? 岩城東陵編「(狂俳)類題花の魁」(初編)愛知県岡崎連尺町・日進堂 KM(初、3、5、6編)(明治14年まで)

? 中村大次郎「落語業名鑑」東京・大塚喜三郎

? 若葉家三楽「(開花都々一)声くらべ(二編)」東京・森本屋

明治10(1877)年

3 「团团珍聞」創刊 团团社(明治41年1月終刊)

5 「滑稽風雅新聞」創刊 東京・開新社(明治11年3月四四号まで。以後「滑稽風雅新誌」へ改題、明治15年百一号で終刊) KM

6 笑門舎福来編「鹿児島洗湯笑論」(第壹号)東京・熊谷庄七 T

8 前田喜次郎編「びっくり草紙なぞなぞづくし(初

編)」大阪・前田喜次郎 KL

11 原田道義編「珍文莞詩(第一輯)」東京・若林重兵衛 KL(続刊不詳)

11 「魯文珍報」創刊 東京・開珍社(明治15年3月第三十四号で終刊)

12 岩崎好正著「滑稽(おどけ)〇〇陳腐ン(初編)」東京・玉養堂 KM

12 永島福太郎編「落語講談新聞図解(一号)」創刊 東京・永島福太郎 KL(続刊不詳)

? 「風柳珍聞・吹寄謎繪」創刊 東京・環翠社(不詳、年内五号で終刊か)

明治11(1878)年

1 雑賀福之助編「磊磊珍報(一名御伽袋)」大阪・雑賀福之助 KL(三号まで)(続刊不詳、年内十一号で終刊か)

2 篠田仙果編、豊原周義画「幼笑談面白双紙」東京・上村清左衛門 KM

2 芦原陽三郎編「狂句鱗競(初編)」仙台・白木大吉 KM

2 藤田久道著「文明笑話」東京・星野松藏 KM

4 大町安敬編「支那珍文(第一集)」大阪・鹿田静七 KL(続刊不詳)

4 倉田太助編「開化新聞どどいつ(初編)」東京・倉田太助 KL

4 「滑稽風雅新誌」創刊 東京・開新社(明治15年百一号で終刊)

5 佐野金之助編「一口笑(おとしはなし)」東京・佐野金之助 KL

5 佐野金之助編「明治新撰なぞづくし」東京・佐野金之助 KL

5 「妙々雑俎」創刊 東京・巖々堂(明治12年3月終刊)(第三号 T)

6 藤原元親編「開化珍奇詩文集」(初編)東京・山本利兵衛 KM

6 野田千秋編「珍笑新誌」創刊 東京・開珍社(のち開口社)(第七号まで発刊後不詳)

7 田村岩三郎編「寝言珍腐(第一号)」創刊 大阪・田村岩三郎 KL(続刊不詳)

8 華本安治郎編「(狂言倚語滑稽寄品)劇場百覧会目録」(「劇場珍報」第二号)大阪・華本文昌堂 KL

- 8 森城編述「(抱腹絶倒)西洋頓知機林 (jokes and jests)」東京・内外發明新報社 K
- 8 「滑稽演説會」創刊総生寛編 東京・竹天堂 KL (第1、2、5 - 50巻) (明治12年10月第50巻で終刊か)
- 10 内藤廉吉著「昔昔珍話 (第一号)」東京・熊谷庄七 KL (続刊不詳)
- 10 永島福太郎編「開化新作度々逸」(第一、二号) 東京・堤吉兵衛 KL
- 10 永島福太郎編「新板なぞなぞ合」東京・加賀吉 KL (第一号から四号まで)
- 10 「驢尾団子」創刊 東京・団々社 (明治16年5月第234号で終刊)
- 10 「月とスッポンチ・即席落語種本」創刊 東京・武井佐吉 KM (第一、二号) (明治13年2月56号で終刊)
- 11 木楽齋編、小林幾英画「開化新撰はうた上り入どどいつ」東京・武井佐吉 KL
- 11 山村清助編「(珍笑)団々都々一 (第壹号)」東京・若栄堂 KL (明治12年10月第5号まで、以後不詳)
- 12 笹木芳滝編・画「開化の笑顔 (新柳樽)」(全五冊) 大阪・富士政七 KL
- 12 万亭応賀著「こんなもの (各覧會三結局)」東京・山静堂 KL
- ? 福城駒多朗編「(狂詩選) 開花穴探」東京・文會堂 KM (明治13年までに合計3冊か)
- ? 矢田一翠 (巴流亭) 編「(狂俳) 明治千歳集」(初編) 愛知県岡崎連尺町・環翠堂 KM (明治15年までに合計4冊か)
- 明治12 (1879) 年**
- 1 牛窪了編「(開化狂詩) 酒邊理詩題」(全二冊) 東京・静楽堂 W
- 1 木楽齋編、小林幾英画「狂歌川柳名譽寄合」東京・武井佐吉 KL
- 1 「我楽多珍報」創刊 京都・京都日日新聞社 (明治16年4月第127号で終刊)
- 1 「ころころ雑誌」創刊 秋田・聚珍社 KM (1~3, 5号) (不詳、明治13年18号で終刊か)
- 3 木楽齋編、小林幾英画「(右は團○の原書、左はスッポンチの抜書) 狂歌川柳名譽寄合 (第二号)」東京・武井佐吉 KL (第一号は「月とスッポンチ即席落語種本」か、続刊ともに不詳)
- 3 「此花新誌」創刊 大阪・金蘭社 (不詳、年内15号で終刊か)
- 5 岩崎好正編「(四季花揃) 珍々集」(第一編) 東京・團々社 (明治12年5月に第七編、以後不詳)
- 5 永島辰五郎編「(開化都々逸) 東之花 (雪、月)」(全二冊) 東京・小森宗次郎 KL
- 5 永島福太郎編「開化新作度々逸」(第三、四号) 東京・堤吉兵衛 KL (第一号から四号まで)
- 5 山田保抄訳「(西洋滑稽) 三笑人」東京・山田保 KL
- 6 赤松吉次郎編「(文妙戯化) 鯰猫珍報 (第一号)」大阪・開進社 KL (続刊不詳)
- 7 永島新太郎編「金沢珍聞 (第一号)」金沢・近八郎右衛門 KL (続刊不詳)
- 7 福井孝治 (猫々山人) 著「(岡山奇談) 猫狸珍報 (第一号) 岡山県綾部村・烟雲深处楼 KL
- 8 永島辰五郎編「開化大津絵ぶし (一~二号)」東京・堤吉兵衛 KL (続刊不詳)
- 8 福井孝治 (猫々山人) 著「(岡山奇談) 猫狸珍報 (第二号) 岡山県綾部村・烟雲深处楼 KL
- 10 「面白新聞」創刊 水戸・面白新聞社 (不詳)
- 11 鷺見照安編「開化なぞづくし (上、下)」東京・鷺見照安 KM
- 11 仮名垣魯文編「いろは新聞」東京・京文社 KM (明治17年10月「勉強新聞」に改題終刊)
- 11 服部応賀著、惺々暁齋画「馬鹿大妙薬 (上~下)」東京・山崎清七 W (発刊月は下巻末記載による)
- 12 佐野金之助編「明治新撰柳多留」(全二冊) 東京・松阪屋 KL
- 12 服部応賀著、惺々暁齋画「東京花毛抜 (二号)」東京・山崎清七 KL
- 12 「同楽叢談」創刊 東京・同楽社 (明治14年2月終刊)
- ? 木楽齋編、小林幾英画「(席戲立口上茶番種本)」東京・錦林堂 (第三号か?)
- ? 河野庄作編「(雷雷珍報 (一名御伽袋))」創刊 大阪・進取社 (5号以降不詳、明治11年創刊「磊磊珍報」改題か)

明治13(1880)年

- 1 中村忠七編「まるまるそのままかそえ鞠唄一ツトセぶし」大阪・中村忠七 KL
- 2 石井俊郎編「(滑稽)開化の寐言」京都・今井喜兵衛 KL
- 2 長谷川忠兵衛編「開化大津ゑ・かっぱれぶし・葉唄・都々一吹分(初編、二編)」東京・長谷川忠兵衛 KL
- 3 柴増十郎編、小松徳方校「開化新選明治新撰柳多留(初編)」長野県上諏訪村・藤森平五郎 KL
- 3 前田時三著「(奇警滑稽)浮世の迷惑(初編)」大阪・前川文栄閣 KL
- 4 加藤富三郎編「(気に喰ぬ)当時悪口(一名心得違者説諭)」大阪・金随堂 KL
- 4 柳水亭種清(桜沢堂山)著「(開化新題)咄表詩話(初編)」東京・二書房 KL
- 5 鈴木敏勝編、児玉源之丞訂「一解一笑智囊」東京・甘泉堂 KL
- 5 高橋亀吉編「新作別品都々一」(全三冊)東京・高橋亀吉 KL
- 5 服部応賀著、惺々暁齋画「東京花毛拔(三号)」東京・山崎清七 KL
- 8 柳水亭種清(桜沢堂山)著「(開化新題)咄表詩話(二編)」東京・二書房 KL
- 8 「(泰平樂雅奇)面白誌」創刊 静岡・笑門福来社(明治15年1月26号で終刊)
- 9 駒井友三郎編「新作浮世都々一」東京・駒井友三郎 KL
- 9 永島辰五郎編、歌川芳虎画「新作奈曾つくし」東京・堤吉兵衛 KL
- 10 鶴廻家丹頂編「滑稽節用集(万国へ不通語)」東京・鶴の屋 KL
- 10 永島福太郎著「(開化新作)一口ばなし(初号)」東京・大橋堂 KL
- 10 浜野千蔵編「開化新選柳多留」東京・浜野千蔵 KL
- 11 総生寛著「安本丹楽経」東京・総生寛 KL
- 11 柳水亭種清(桜沢堂山)著「(開化新題)咄表詩話(三編)」東京・二書房 KL
- 11 「諸芸新聞」創刊 東京・諸芸新聞社(明治15年9月24日87号から「絵入諸芸新報」と改題)
- 12 加藤信次郎編「(浪花土産)面白誌(初編)」大

阪・開成舎 KL

- 12 増田繁三(碌々山人)編、田象二笑評、田繁三笑選「狂文章戯範笑林」東京・有則軒 KL、T
- ? 榊原英吉編「明治太平楽府」(全四冊)大阪・友僊閣 KM
- ? 山田延太郎編「(挿絵新珍)明治笑府(第一編)」東京・瓢々閣
- ? 「滑稽大熊手」創刊 東京・風交社(不詳、7月に16号発行)
- ? 加藤平一編「(狂俳)美越津久志(初編)」名古屋・豊川堂 KM

明治14(1881)年

- 1 滑稽才子(松浦宏)編「(道徳利慾)臍茶論(第一号)」東京・山中市兵衛
- 1 三遊亭圓朝編「三遊春の風俗」私家版
- 1 新田保之助編「狂詩余学便覧」(正、続)大阪・山口松次郎 KM
- 1 長谷川作治郎編「開化新撰なぞづくし」東京・長谷川作治郎 KL
- 1 本荘四郎編「明治歌楽多(初篇)」大阪・明昇堂 KL(続刊不詳)
- 1 本荘四郎編「明治風雅楽府」(全二冊)大阪・明昇堂 KM
- 2 小柳津親雄著「(滑稽)国会夢物語」仙台・東北新報社 KL
- 2 大喜仲宣著「(滑稽算法)宝袋」名古屋・滑稽社 KL
- 2 大田南畝(四方赤良)編「狂歌浜乃きさご」静岡県島田村・麟鳳堂 KL
- 3 花鷹狂生編「(佳花余薫)珍々文粹」大阪・酔好堂 KL
- 3 「面白奇聞話乃太禰」創刊 東京・萬字堂(不詳、年内25号で終刊か)
- 4 滑稽才子(松浦宏)編「(道徳利慾)臍茶論(第二号)」東京・山中市兵衛(続刊不詳)
- 4 永島辰五郎編「開化なぞづくし」東京・宮田孝助 KL
- 4 「能弄戯珍誌」創刊 大阪・珍々社(不詳、明治15年43号で終刊か)
- 5 酒呑堂誌著「(滑稽演舌)不思議ノ世ノ中」東京・興文社 KL

- 5 伴源平編「浪華みやげ」大阪・赤志忠七 KL
- 5 松村春輔(桜雨)編「抱腹奇語(初編)」東京・延寿堂 KM
- 6 小柳津親雄編「(滑稽)天狗討論会」仙台・東北新報社 KL
- 7 榊原英吉編、旧邦堂欣愿校「新撰狂句川柳五百題(全三冊)」大阪・北村孝治郎 KM
- 8 「生久楽心誌」創刊 大阪・開成社(不詳、年内5号までか)
- 9 島田主善(夢春)著「怪化狂詩撰」(上、下)甲府・温故堂 KM
- 9 竹内栄久編、歌川国政三世画「開化新撰なぞあわせ」東京・小森作太郎 KL
- 9 田中寅衛編「八千々々草(第一編)」高知県細工町・田中寅衛 KL(続刊不詳)
- 9 吉田伊太郎編「滑稽大家論集(文明變象社會笑柄)」大阪・安井兵助他
- 10 高崎脩助編「訳準笑文選」東京・高崎脩助 KL
- 10 望月周兵衛(天竺老人)編「開花狂歌集」甲府・内藤伝右衛門 KM
- 11 仰光堂仁瓶等、松井又左衛門編「(狂俳)四蕪枝(初編)」名古屋・佐藤善兵衛 KM
- 11 小池洋二郎編「別々珍誌」東京・聞天書院 KL(明治15年2月第5号まで、以後不詳)
- 11 佐野定次郎編「(おとしばなし)笑門」東京・松坂屋
- 11 檜崎隆存著「明治開口新語」和歌山・平井丈助 KL
- 11 「滑稽有佐葉樂誌」創刊 東京・滑稽堂(不詳)
- 12 鴛鴦亭春海編「玉競四季廼魁」和歌山・万寿堂 KM(第一集:狂詩之部、第二集:狂歌之部、第三集:都々逸之部、第四集:俳句・狂句之部)
- 12 立野藤治郎編「御伽智恵競」東京・山岸佐吉 KL
- 12 万亭応賀著「明治十五年未來記」東京・文進堂 KL
- ? 加藤富三郎編「(唱歌笑芸)粹乃大蔵書」(全四篇)大阪・綿喜
- ? 小林清親筆「清親ポンチ絵画帖」東京・小林鉄次郎 KL
- 明治15(1882)年
- 1 石田寿英著、平山祐之編「学校新話(繙卷失笑)」東京・松樹書屋 KM
- 1 真木幹之助(痴囊)編「大福腸」東京・団々社 KL
- 2 上野佐兵衛編「柳風狂句合」東京・南庭舎 KM
- 2 仮名垣魯文著「(滑稽)残菜囊」東京・誠文堂
- 3 「時事新報」創刊 東京・慶応義塾出版社(明治36年12月終刊)
- 4 岡橋松四朗編、金天山正福関「(狂俳冠句)十会すまひ」京都・当古堂 KM
- 4 尾崎民太郎編「開化花揃都々逸」東京・尾崎民太郎 KL
- 4 野々山利吉(晴暉亭野鶴)編「(狂俳)和歌菜籠(初編)」愛知県岡崎連尺町・環翠堂
- 4 矢野友治郎編「(狂俳)八重垣集(初編)」名古屋・矢野平兵衛 KM
- 5 石井虎吉、舟田彦兵衛編「新撰開化狂歌集」東京・石井虎吉 KM
- 5 方外道人旧稿、醉多道士笑注「笑註干菓詩」東京・明善閣、巢枝堂 KM
- 6 田中里兵衛編、森和平校「(狂俳)さゝれ石(初編)」名古屋・淇水堂竹哉 KM
- 7 近八郎右衛門編「虎列刺珍聞」金沢・文林舎 KL
- 8 式亭三馬著「忠臣蔵偏痴氣論」(全二冊)東京・珍々堂 KL
- 8 十返舎一九著、葛飾北斎画「滑稽二日酔(上、下)」東京・江島伊兵衛 KL
- 8 大黒庵二俵撰、水野又八編「(狂俳)誉年俵」愛知県挙母村・文会堂 KM
- 10 仮名垣魯文著「滑稽道中膝車」東京・万笈閣 KM(明治16年版)
- 10 十返舎一九著、醉多道士評「笑評道中膝栗毛」東京・潛心社 KL
- 11 海野寿三編「(全国滑稽)投書家細見」大阪・珍々社
- 11 大森弁吉郎編「(唱歌笑芸)粹の大福帳」大阪・一成舎 KL
- 11 倉田太助編「新富座声色の本(第壹号)」東京・倉田太助 KL
- 11 松村操(春風)編「東都八大家戯文(上、下編)」

- 東京・岩崎好正 KL
- ? 一旭軒虎眠編「(狂俳)竹廻八重柵(初篇)」名古屋・洪水堂 KM
- ? 梶原竹哉編「水の音(狂俳水音舎月次集)」名古屋・水音舎 KM(明治16年までに合計12冊か)
- 明治16(1883)年
- 1 三木愛花刪定、和田眠柳(友輔)編、服部撫松関「狂詩文歌句幼学便覧(一名投書家錦囊)(乾、坤)」東京・春陽堂 KM
- 1 三村昇五郎編「新選落語の種本(上編)」東京・三村昇五郎 KL
- 3 仮名垣魯文著「西洋道中膝栗毛(初、二編)」東京・小林鉄次郎 KL
- 4 菊亭静著「滑稽新話明治流行噓八百(第壹編)」東京・續文舎 KL
- 4 亀楽庵寿扇編「(狂俳)春告草(初編)」岡崎・文錦堂 KM
- 4 島田主善(夢春)著「怪化狂詩撰(全二冊)名古屋・三輪浅治郎 KM
- 4 柳窓外史著、菊亭静著関「(滑稽新話)書生肝刺誌」東京・今古堂 KL
- 4 (編者不詳)「(狂俳)波都多誉利(初、二編)」名古屋・洪水堂 K
- 5 伊藤静舟編「掌中たねふくべ」東京・石井虎吉 KL
- 5 木村文三郎原版「智恵競博物筈(二編)」東京・石井虎吉 KL
- 5 滝亭鯉丈著「滑稽和合人(初編)」東京・巖々堂 KL
- 6 遠来舎友得著、月の戸順本太編、風也坊川柳関「(初心必読)狂句虎の巻(旧名一夜酒)」東京・滑稽堂 KL
- 6 式亭三馬著、歌川豊国画「一盃奇言(全二冊)東京・江島伊兵衛 KL
- 6 垂洩子著「明治八笑人(第一編)」東京・由己社 KL
- 7 大田南畝著「(狂歌指南)浜廻幾佐古」東京・旭昇堂 KL
- 7 木滝清類編「演説引要笑話万邦史(一名あごはづし 臍の宿替)」東京・郁文堂政治書院 KL
- 7 晴亭柳窓著、菊亭静関「(明治新話)抱腹奇談」東京・松江堂 KL
- 8 宮崎孝一編「(滑稽絵入)冥府狎談」東京・同盟書房
- 9 岩城玄庵(静々舎東陵)編「(狂俳)花の魁(第七篇)」愛知県康生町・近藤巴太郎 KM
- 9 片岡甚三郎編「(画本)絵口合(全二冊)」大阪・片岡甚三郎 KL
- 9 片岡甚三郎編「絵本にわか(一、二)」大阪・片岡甚三郎 KL
- 9 前島和橋編「(笑門来福)狂句百面相」東京・文盛堂 KM
- 9 「(面白叢談)寄合話」創刊 東京・萬字堂 KL(明治17年1月第四会まで、続刊不詳)
- 10 石井虎吉編「口上茶番頓智論」東京・井上勝五郎 KM
- 10 菊亭静著「(滑稽新話)明治流行噓八百(第貳編)」東京・續文舎 KL
- 10 式亭三馬編、羽部治兵衛翻刻「古今百馬鹿」東京・續文舎 KL
- 10 式亭三馬著「(皆化節用)小野ばかむら噓字づくし」東京・青雲堂 KL(文化3年板の復刻;見返「皆化節用儒者の肝つぶし」、奥付に「改題」とある/KLタイトルは「=字尽」)
- 10 十返舎一九(三亭春馬)著「滑稽水掛論」東京・松琴堂 KL
- 10 醉月仙史著「(油断大敵)吃驚叢談」東京・九春社 KL
- 10 中井恒次郎編「照葉狂言杓子定木」京都・狂言堂 KM
- 10 墨愍斎主人編(翻刻)「笑府」東京・鶴声社 KL
- 10 森仙吉編「笑府」東京・鶴聲社 KL
- 11 安藤徳兵衛編「新撰謎々合」東京・文盛堂 KL
- 11 井上久太郎著「(開化自慢)滑稽笑抱会議(上、下)」大阪・北村孝二郎 W
- 12 木村文造編「一休蝮川狂歌問答(初編)」東京・木村文三郎 KL
- 12 泥水情史関「粹の大蔵書(上)」大阪・綿喜 KL
- 12 内藤加我編「面白奇文団珍絵探」東京・丸屋鉄治郎等 KM
- 12 「奇言余誌」創刊 東京・団々社 KM(翌年

10月10号で終刊)

- ? 一旭軒虎眠編「(狂俳) 竹廼八重柵 (初篇)」名古屋・淡月堂 KM
- ? 一発一揆「開化都々一」東京・山口屋
- ? 加藤平一編「(狂俳) 美越津久志 (二編)」名古屋・豊川堂 KM
- ? 月之本梅光「(新作都々一) 四季明治之花」東京・前川源七郎
- ? 「滑稽厚釜集」創刊 東京・海老原喜兵衛 (明治16年8月に第二編、不詳)

明治17(1884)年

- 1 石井虎吉編「神事灯籠画譜」東京・大宝堂 KL
- 1 木村文造編「柳樽 (初編)」東京・木村文三郎 KL
- 1 式亭三馬著「(道外節用) 小野ばかむら 謔字尽」(全二冊) 東京・木村文三郎 KL
- 1 島村吉松編「絵本なぞづくし」東京・島村吉松 KL
- 2 大沢栄吉編「(絵入) 仇なぐさ 諸芸乃種本」東京・柳心堂 KM
- 2 大沢栄吉編「花くらべ 諸芸乃種本」東京・柳心堂 KM
- 2 大沢栄吉編「浜ちどり 諸芸乃種本」東京・柳心堂 KL
- 2 香雲亭桜山著、生田芳春画「珍妙道化百人一首」大阪・木村半兵衛 KL
- 2 泥水情史閣「粹の大蔵書 (中)」大阪・綿喜 KL
- 2 宮峯胤史著「(狂詩選) 繁昌一斑山形土産」山形・草苺源吾 K
- 3 木村鉄三郎編「(狂詩題都々逸) 客と娼妓」東京・秋山堂 KM
- 3 十返舎一九著、浪華旧邦堂摘文、伴源平編「(画入) 袖珍道中膝栗毛 (東海道ノ部)」大阪・此村彦助 T
- 3 十返舎一九著、旧邦堂摘文、伴源平編「(画入) 袖珍道中膝栗毛 (東海道ノ部)」東京・旭昇堂 KL (続編と合本)
- 3 福島俊次郎編「狂歌共楽集」東京・石渡熊雄 KM
- 3 真木痴囊著「狂詩語碎金」東京・団々社 KM
- 3 上田捨吉編「演劇新報」創刊 大阪・巖々堂 KL (第1号) (明治18年25号で終刊か)
- 4 (編著者不詳)「いろはたとへ」(全二冊) 東京・島村吉松 KL
- 4 素平連著、山彦翁等評、安中半三郎編「類題醉狂句集 (初編)」長崎・安中半三郎 KM
- 4 中井恒治郎編「狂句導戯百人一首」京都・大島細吉 KM
- 4 長谷川忠兵衛編「新作一口噺」東京・長谷川忠兵衛 KL
- 4 長谷川忠兵衛編「(謎々教訓) 春の雪 (なぞづくし)」東京・長谷川忠兵衛 KL
- 5 泥水情史閣「粹の大蔵書 (下)」大阪・綿喜 KL
- 5 白露庵朝山 (三上秀格) 編「狂句太郎」青森県弘前和徳町・秋元源吾 KM
- 5 堀部朔良 (米巒笑史) 編「大坂穴探」大阪・思天堂 KL
- 6 山田保抄訳「(西洋滑稽) 三笑人 (第二版)」東京・早川新三郎 KL
- 8 児玉得利編「(狂俳) 鯨の比加利 (初編)」名古屋・三輪浅治郎 KM
- 8 式亭三馬著「(譚話) 浮世風呂」東京・明三閣 KL
- 8 中野了随著「洋語歌字尽 (野篁堂新發明)」東京・鶴鳴堂 KL
- 10 伊東橋塘、川上鼠文著「(滑稽笑談) 清仏船栗毛」東京・金玉出版社 (全五冊、明治18年9月完結) KL
- 10 (編著者不詳)「滑稽おもしろ噺 (初編)」東京・松栄堂 KM
- 11 豊瀬賛女編「(新版) 開化地口画手本」東京・辻岡文助 KL
- 11 梅亭金鷲 (化三) 編「滑稽立志編」東京・瓜生政和 KL
- 11 前島和橋編「(笑門來福) 狂句百面相」大阪・清玉堂 KM
- 11 夢春居士著「古今狂詩撰 (上、下)」東京・金鱗堂 KM
- 12 大沢栄吉編「花くらべ 諸芸の種本」東京・柳心堂 KM
- 12 小尾政明編「東京新万歳」名古屋・三輪浅治郎

- KL
- 12 桂林舎一枝著「(猫狐豊川詣)笑談膝栗毛」岡崎・環翠堂 W
- 12 近藤巴太郎選「(狂俳道志留遍(初編))」愛知県岡崎康生町・文錦堂 KL
- 12 長岡栄次郎編「(道之輪)阿房陀羅經」京都府乙訓郡久世・長岡栄次郎 KL
- 12 渡辺直之編「(風流珍聞漢文(正、続))」東京・井上勝五郎 KM
- 明治18(1885)年
- 1 近藤巴太郎(蚊雷居)編「(狂俳新報(初編))」名古屋・狂俳新報舎 KL(続刊不詳)
- 2 川合梁定(浮世一分五厘庵)編、木葉散人著「(滑稽道中)地獄伝信記」京都・律書房 KM
- 2 木村勘次編「(新撰地口灯籠)」東京・木村勘次 KL
- 2 醉多道士評、十返舎一九著「(道中膝栗毛)(増補訂正)」東京・文事堂 KL
- 2 風也坊川柳(七世)編「(大湯丹波湯)懸額柳風狂句集」山形県赤湯村・米空之助 KL
- 2 方外道人選、醉多道士笑註、増田繁三編「(笑註茶菓詩(上、下))」東京・高崎修助、榊原友吉 KL(序文明治15年5月、奥付明治18年3月)
- 4 児玉弥七編・画「(古狐妖され双紙)」東京・大橋堂 KL
- 4 長谷川忠兵衛編「(考物集)」東京・長谷川忠兵衛 KL
- 5 伊藤竹次郎編「(座敷即席一口噺し)」浜松・伊藤竹次郎 KM
- 5 式亭三馬著「(四拾八癖)」東京・鶴声社 KL
- 6 長谷川園吉画「(地口絵本(東京地口))」東京・長谷川園吉
- 7 井沢菊太郎(梨園道人)編「(影芝居鸚鵡の人真似(一名・声色独り稽古))」東京・井沢菊太郎 KL(再版か?)
- 7 十返舎一九著、鈴木金次郎翻刻「(面白双紙)」東京・金泉堂 KL
- 7 十返舎一九原著、百の家主人誌「(画入)(袖珍)続道中膝栗毛」大阪・駿々堂 KM
- 8 島村吉松編「(絵本なぞつくし)」東京・日吉堂 KL
- 8 菅谷與吉編「(絵本新作一口咄)」東京・日吉堂 KL
- 8 牧金之助編「(和洋てじなのたねほん)」東京・深川屋 KL(一部欠落)
- 8 吉田桑吉編「(狂俳各撰)源氏五拾四状集」愛知県挙母町・吉田桑吉 KM
- 9 式亭三馬著「(滑稽絵入)忠臣蔵偏痴気論(全二冊)」京都・前田虎吉 KL
- 9 十返舎一九著、加藤正七編「(画入)(袖珍)続道中膝栗毛(木曾街道)」東京・旭昇堂 T、KL(合本)
- 9 土田泰蔵(淡堂)著「(正変)狂詩選」東京・名塩商店 KM
- 9 長谷川忠兵衛編「(開化新作落語の吹寄)」東京・長谷川忠兵衛 KL
- 9 宮田栄馬編「(滑稽新話)八千八千草紙(第弐号)」高知県中新町・滑稽鳴盟社 KL(創刊号、続刊ともに不詳)
- 9 「(目ざまし珍聞)創刊 大阪・駿々堂(明治19年12号で終刊か)
- 10 石川雅望(六樹園)編「(故人名家狂歌百人一首図絵)」東京・安田恒太郎 KM
- 10 大沢栄吉(朝寝坊文洲)編「(恋の魁諸芸種本)」東京・柳心堂 KM
- 10 大田南畝、朱楽菅江編「(万載狂歌集(天))」甲府・陸文堂 KM
- 10 磯川喜望著「(ドーデモ英和字彙)」東京・浮木堂 KL
- 10 旭亭笑眉、東変訪来著「(開卷抱腹、笑談)滑稽臍の茶わかし(第一号)」東京・仁閣堂 KL(続刊不詳)
- 10 永島春暁画、編「(ひとくちばなし)貴美談語」東京・深川屋 KL
- 10 牧金之助編「(新撰三線の糸まき)」東京・金寿堂 KL
- 11 式亭三馬著「(譚話)浮世風呂」東京・文事堂 KL
- 11 戸田欽堂(狐窟情仙)著「(嬉笑珍話)浮世料蕩夫(第壹号)」東京・仁閣堂 KL(続刊不詳)
- 11 野久知橋莚著「(面白咄志)考落」東京・横山良八 KL
- 11 野久知橋莚著「(新考落語)」東京・横山良八 KL

- 11 牧金之助編「新撰なぞなぞあわせ」東京・牧金之助 KL
- 11 横山良八編「面白草紙茶番の種本」東京・横山良八 KL
- 11 横山良八編「滑稽腹掃除」東京・横山良八 KL
- 11 横山良八編「(新案地口) 諸芸の名寄」東京・横山良八 KL
- 12 岩城勝蔵編「新板一口咄し」東京・岩城勝蔵 KL
- 12 薄根貞義編「出鱈目狂詩(上、下)」浜松・春山堂 KL
- 12 小尾政明編「新万歳」名古屋・鍋野長三郎 KL
- 12 小尾政明編「万歳」名古屋・鍋野長三郎 KL
- 12 十返舎一九原著、百の家主人誌「(画入) (袖珍) 続道中膝栗毛」東京・藤谷虎三 KM
- 12 島村吉松編(?)、秀月画「新板絵本なぞつくし」東京・伊勢勝蔵 KL
- 12 中村善平(狸遊)編・画「百妖笑々寄如件」大阪・森玉林堂 KL
- 明治19(1886)年**
- 1 嵯峨野増太郎編「一休蝮川狂歌問答」東京・日月堂 KL
- 2 関由蔵編「考物集」東京・金寿堂 KL
- 2 関由蔵編「当世流行仙たみふし新作一口ばなし」東京・関由蔵 KL
- 2 道楽粹詩、梶山直三郎編「(粹客必携) 音曲集(附狂詩歌句)」前橋・盛文堂 KL
- 2 中村狸遊編・画「百妖笑々寄如件」東京・吉田正太郎 KL (翻刻)
- 2 長谷川園吉編「武者名寄出多羅目咄し」東京・長谷川園吉 KM
- 3 近八郎右衛門編「小野篁歌字尽」金沢・近八郎右衛門 KL
- 3 近八郎右衛門編「開化新調道外百人一首」金沢・近八郎右衛門 KL
- 3 近八郎右衛門編「(戯作草紙) サハリ入都々逸(二)」金沢・探花書房
- 3 近八郎右衛門編「新撰漢語都々逸」(全三冊) 金沢・探花書房 KL
- 3 近八郎右衛門編「しんばんなぞなぞ合雪のあした」金沢・探花書房 KL
- 3 酔多道士評、十返舎一九著「(増補) 道中膝栗毛」(再版) 東京・文事堂 KL
- 3 関由蔵編「地口絵本」東京・関由蔵 KL
- 3 堤吉兵衛編「智恵競考もの」東京・堤吉兵衛 KL
- 3 万亭応賀著「万福天カラフル(東景歌枕)」東京・金松堂 KL
- 4 大田南畝著「(狂歌指南) 浜のきさこ」東京・伊藤武左衛門 KL
- 4 一荷堂半水著、芳梅画「(穴さがし) 臍の宿替」大阪・前田徳太郎 KL (初、2、4-13編)
- 4 田中重信「大津ゑぶし」金沢・田中重信 T
- 4 村山繁蔵編「いろはたとへ注訳狂歌」高知県村木町・村山繁蔵 KL
- 5 胡逸輪道太編、臍尾転関「明治狂体詠物詩選」東京・友文舎 KM
- 5 嵯峨野増太郎編「端唄都々逸集」東京・日月堂、栄泉堂 KL
- 5 与美亭三鷹編「古今人物狂詩百面相」東京・友文舎 KM
- 6 岩崎好正編「滑稽〇〇陳腐ン」東京・流芳閣 KM (明治10年版翻刻)
- 6 堤吉兵衛編「新作一口ばなし」東京・堤吉兵衛 KL
- 6 堤吉兵衛編「新撰地口図会」東京・堤吉兵衛 KL
- 6 山口亀吉編「(開化浮世笑談) 阿羅くぐり」東京・山口亀吉 KL
- 6 夜短坊大瓶選、山班粹士関「(唱歌諸芸) 粹の種本」京都・改進堂 KL
- 7 香雲亭桜山作、生田芳春画「道化百人一首」東京・天賜堂 KL
- 7 佐々木慶助編「一休諸国物語図会(秀才美談)」京都・佐々木慶助 KL
- 7 額田正三郎編「柳たる(川柳狂句)(初編)」東京・額田正三郎 KL (続刊不詳)
- 7 万亭応賀著「私立飛田小学(学もん大安売 初号)」東京・児玉弥吉 KL
- 8 式亭三馬著、遠塵舎摘文「(画入) 袖珍浮世床」大阪・駈々堂 KM
- 8 鶴舞亭松旭(松浦甚七)編「(狂俳) 初日の出(初編)」名古屋・矢野平兵衛 KM

- 8 寺井與三郎翻刻「一休諸国物語図絵」大阪・有益館 KL
- 9 上田捨吉翻刻「一休諸国物語図絵」大阪・騒々堂 KL (明治19年11月再版、20年4月三版、ともにKL)
- 10 佐々木広吉編「新聞一口はなし」東京・佐々木広吉 KL
- 10 嵯峨野彦太郎編「一休蝮川狂歌問答」東京・嵯峨野彦太郎 KL (1月出版本と同内容、出版社名記載なし)
- 10 式亭三馬著「柳髮新話」浮世床」東京・栄文舎 KL
- 10 島村吉松編(?)「絵本なぞつくし」東京・森本順之介 KL
- 10 八仙斎大人編「(狂俳)金華集」岐阜・日新堂 KM
- 10 森仙吉翻刻「一休諸国物語図絵」東京・鶴声社 KL
- 10 森本順三郎編「しん作おとし咄し」東京・森本順三郎 KL
- 10 「頓智新聞」創刊 東京・頓智新聞社(一号で廃刊)
- 11 十返舎一九作、大川錠吉編「(東海道五十三駅)滑稽膝栗毛(cotsukei shizakurige)」東京・順成堂 KL
- 11 鍋野長三郎編「なぞづくし」(全二冊)名古屋・鍋野長三郎 KL
- 11 滝亭鯉丈著、深川梅園関「花暦八笑人」東京・武部滝三郎 KL
- 12 飯沼政憲編「一休和尚諸国物語」大阪・蓄善館 KL
- 12 滝亭鯉丈著、中里左太郎訳「花暦八笑人(春)(英和对文一名俗話英訳手引)」東京・後凋閣 KL
- 12 「口唐出任面白珍報」創刊 東京・退屈社(不詳)
- 明治20(1887)年
- 1 岩本吾一(蘭崖逸史)編訳「(一奇一驚)開卷百笑」東京・金櫻堂 KL
- 1 佐々木広吉編「笑談阿房陀羅經」東京・佐々木広吉 KM
- 1 森仙吉翻刻「一休諸国物語」(二版)東京・鶴声社 KL
- 2 伊東専三(橋塘)著「滑稽笑談清仏船栗毛」東京・松成堂 KL
- 2 中野了随編「(難問即答)一休頓智奇談」東京・鶴鳴堂 KL
- 2 「TOBAE」創刊 横浜居留地内(明治22年12月終刊)
- 3 一荷堂半水著「笑談貧福大乱軍記(巻之一〜八)」大阪・修成閣 KL
- 4 樺井達之輔編「一休蝮川狂歌問答」京都・須磨勘兵衛 KL
- 4 山班粹士関「(唱歌諸芸)粋の種本(増補再版)」大阪・南谷新七 KL
- 4 瘦々亭骨皮道人演説、和良井鋤太筆記「(拍手喝采)滑稽独演説」(全二冊)東京・共隆社 KL
- 4 「頓智協会雑誌」創刊 東京・頓智協會(明治22年2月終刊)
- 5 樺井達之輔編「一休蝮川狂歌問答」京都・遠藤平左衛門 KL
- 5 十返舎一九著、木谷丑之助翻刻「面白双紙」大阪・博出堂 KL
- 5 樺井達之輔編「一休蝮川狂歌問答」京都・須磨勘兵衛 KL
- 5 梅亭金鷲著「東海新道洒落栗毛」(出版地、出版社不詳)
- 5 長谷川繁三郎編「(唱歌諸芸)粋粋の種本(増補)」大阪・岡本仙介 KL
- 5 柳園美登里編「もん句入都々一集」東京・薫志堂 KL
- 6 飯島花月著、嬉笑醒史校、無物居士柳校、「絶倒笑話(わらひのたね)(上)」(出版地等不詳)
- 6 浮世粋史著、愛柳痴史関「(一読一笑)明治浮世風呂(一名命の洗濯)」東京・共隆社 KL
- 6 牛山鶴堂(良介)編訳「(英和对訳)西洋落語」東京・佐藤乙三郎 KM
- 6 土子金四郎述、武田富寿記「洒落哲学」東京・哲学書院 KL
- 6 中村浅吉編「(新作画本)落し噺」京都・中村浅吉 KL
- 6 夜短坊大瓶選、山班粹士関「(唱歌諸芸)粋粋の種本」京都・鴻宝堂 KL
- 7 飯島花月著、嬉笑醒史校、無物居士柳校、「絶倒笑話(わらひのたね)(中、下)」(出版地等不詳)

- 7 山班粹士関「(唱歌諸芸) 粹の種本(増補)」大阪・石川正七 KL
- 7 石川正七翻刻「一休諸国物語図絵」大阪・競争屋 KL
- 9 式亭三馬著「(小野) 嘘字づくし」東京・吉田桂之助 KL
- 9 島村吉松編(?)「絵本なぞつくし」東京・網島亀吉 KL
- 9 笑々居士編「(新題掘出) 雅楽多草誌」東京・共隆社 KM
- 9 網島亀吉編「新作一口はなし」東京・網島亀吉 KL
- 9 万亭応賀著「(文名皆化) 和談三才図笑(一の巻)」大阪・松浦庄作 KL
- 10 近藤巴太郎(蚊雷居)編輯「(新撰滑稽) 奇言なをし」東京・三盟舎 KM
- 10 柳窓外史著、菊亭静著関「書生肝粒誌」東京・山崎又三郎 KL
- 11 晴亭柳窓著、菊亭静関「(明治新話) 抱腹奇談」大阪・駸々堂 KL
- 11 瘦々亭骨皮道人著「奇々妙々滑稽国夢物語」東京・金櫻堂 KL
- 11 西村虎二郎著「(一読百驚) 頓智奇談」名古屋・東雲堂 KL
- 11 萩原新七編・画「(しん板) 阿房陀羅經」東京・萩原新七 KM
- 12 小石居士(永井礫)述、天放仙史記「(笑説) 変哲学」東京・佐藤乙三郎 KL
- 12 自笑居士編、瘦々亭骨皮道人関「(寓意諷刺) 当世滑稽文章(一名書生の慰み)」東京・共隆社 KL
- 12 自他楽坊(渡辺喜望)著「(滑稽小説) 雲の下手人」東京・団々社 KM
- 12 十返舎一九作、牧金之助編「(東海道五十三駅) 滑稽膝栗毛」東京・金寿堂 KL
- 12 戸田欽堂(狐窟情仙)著「(諷世嘲俗) 吾妻ゑびす(一名裏借屋合壁雜譚)」東京・顔玉堂 KL
- ? 中野了随(自由狂人)著「(滑稽政談) 口から出任せ」東京・鶴鳴社 KM
- ? 離迷道人著「滑稽耶蘇退治」京都・法藏館
- ? (編者不詳)「(狂俳) 比左可多集」愛知県岡崎連尺町・伊藤小文司 KM (3~7篇)